

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

1、施設に対する期待の声など（スケジュールを含む）

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
1	このような施設の誕生をととても喜ばしく思う。夫の転勤で延岡市に来たが、まわりに頼れる身内がない。このような施設はありがたい。子どもの遊び場だけでなく、育児相談や、ママの息抜きもできそうでうれしい。	子どもの遊び場としての機能に加え、様々な悩みや不安を抱えている方の相談をはじめ、親同士の交流などを通して、様々な保護者等に対する支援を行う施設にしていきたいと思います。
2	普通の子どもがうるさいのは一時的なことだが、一部の人はそれをうるさく感じるようで、マンション等では苦情もあると聞く。障がい児やDV被害者だけではなく、普通のお母さんが安息を図ることのできる場所があるとよい。	「（仮称）子どもの城」では、屋内外に、子どもが楽しく自由に遊べる環境を整備するとともに、様々な都合や育児疲れなどにより、一時的に子どもを預けたい方が利用できる「一時預かり事業」を実施するなど、子育てをされている多くの方が安らぐことのできるような施設にしたいと考えています。
3	イベントを個人の端末に配信するシステムがあれば、転入者や新米ママたちも地域での子育てに馴染みやすくなる。他の自治体では似たようなシステムの運用実績がある。県北一帯の一元化したイベント情報発信を期待する。	情報を積極的に発信し、多くの皆様に様々な支援やイベント等を知っていただくことは重要な事だと考えています。施設の運営にあたっては、情報発信のあり方についても検討してまいります。
4	頼れる親戚が近くになく、体調不良等で途方にくれた時に、おやこの森の先生方が手を差し伸べてくれたときの感謝は忘れられない。同じように悩む親は多いと思う。親との関係性を築けるような、温かみのある人柄のスタッフを配置してほしい。	支援を行うスタッフには、様々な知識や経験だけではなく、利用者の方に寄り添い、心から信頼されるような温かい気持ちも必要です。そのような部分も含めて、支援員の専門性を高めるための取組みについても検討してまいります。
5	病後児、一時預かりには専門性のある正規スタッフが不可欠だ。おやこの森の子育てサポート養成講座では、たくさんのサポーターが育っている。図書館との連携、保育園、幼稚園とのつながりなど、地域のいろんな施設との関わりも大切だ。	事業内容に応じて、専門性を持ったスタッフを配置するとともに、スタッフの専門性を高めるための取組みや、関係する様々な施設との連携についても行っていく予定です。

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

1、施設に対する期待の声など（スケジュールを含む）

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
6	<p>県外から来ている親子や、支援が必要な親子が、ほっとできるような空間であってほしい。</p>	<p>「だれでも・いつでも・気軽に利用できる子育て総合拠点」を基本理念としていることから、延岡市にお住まいの方をはじめ、市外から訪れた方など、様々な支援を必要とされる方々を温かく迎え入れられるような施設にしたいと考えています。</p>
7	<p>子どもの城は、延岡市全体の子育て環境の更なる充実や改善、そして子どもの貧困や障がいを持たれるお子さん、深く悩んでいる親御さん等、様々な方達への支援を担う必要不可欠なものであり、少子高齢化等が進む中、一刻の猶予もないところに来ている。計画どおり平成31年度中に整備されることを強く希望する。</p>	<p>施設の必要性や機能等についてはご指摘のとおりであり、ご指摘のような課題もあることから、平成31年度中の完成を目指し、整備を進めてまいります。</p>
8	<p>完成時期が大幅に遅れるような事がないよう、進めてほしい。</p>	
9	<p>おやこの森では、坂道が狭くて車をぶつけたことや、駐車場が満車で利用を断念したことがある。延岡市の親子が一日でも早く安心して利用できるよう、計画通り建設を進めてほしい。</p>	
10	<p>一時預かり、病後児保育、発達支援は必要だが、利用者は小学校高学年までだろう。何年か後には修繕費などがでてくることを考えれば、金額に見合う施設だろうか。だれでもいつでも気軽に利用できるというには程遠い。もっと年代を広げた遊び場、体験ゾーンなどを設け、使用料金をとるなど、収益部分もあってもよい。</p>	<p>本施設の整備については、少子化の進行や、様々な支援を必要とされる方々の増加等を踏まえ、現在行っている支援をさらに拡大して、子育てをしやすい環境を整備し、子育ての負担を軽減するために実施するものです。また、「だれでも・いつでも・気軽に利用できる子育て総合拠点」の理念に基づき、できるだけ多くの機能を無料で提供することを基本としつつ、さらに検討を進めていきたいと考えています。なお、より多くの機能等を盛り込むことを目的とした再検討については、完成を遅らせるべきでない等の理由によりできませんでしたが、今後、子どもや子ども連れだけでなく、老若男女幅広い世代が楽しむことのできる、大人も子どもも楽しめる施設の整備について、別途検討してまいりたいと考えております。</p>

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

1、施設に対する期待の声など（スケジュールを含む）

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
11	<p>年々、支援を必要とする方が増えてきていると感じる。娘が支援学校に通っており、将来の夢は、作業所へ仕事に通うこと、「子どもの城」でサポーターとして私と一緒に出来ることを支援していく事だ。卒業までにサポーターの資格を取ることを決意し、実習を受けようと考えている。少しでもスタッフとして携わり、子育て中のお母さん方の悩みや不安、障害を持つお子さんの相談等に、当事者として寄り添えたらと考えている。娘と共に、施設の完成を心待ちにしている。</p>	<p>「（仮称）子どもの城」では、様々な支援を必要とする皆様に、広く支援を行っていくことから、スタッフには、様々な不安や悩みに寄り添った支援を行うことが求められます。障がいをお持ちの方が、当事者同士の支援やピアサポーターのスタッフとして支援に携わっていただくことは、大変意義のあることだと考えます。</p>
12	<p>計画が早期実現されることを願っている。今後は、核家族の子育てニーズに応えるために、家庭訪問事業が大切な取組みとなる。</p>	<p>「（仮称）子どもの城」における子育て支援だけではなく、今後とも、様々な子育て支援のニーズを把握しながら、家庭訪問事業も含め、多様な支援を行ってまいります。</p>
13	<p>山形県東根市に「あそびあらんど ひがしね」という、子どもと親たちの楽しめる施設があり、運営方法がとてもいいと感じる。参考にしてほしい。</p>	<p>運営方法等につきましては、ご提案いただいた事例も含め、多くの自治体の類似施設も参考にしながら、より良い施設となるよう検討してまいります。</p>
14	<p>都市部では、老人ホームと保育園の併設が増えつつある。核家族化で高齢者との交流が希薄な中、子どもにとってお年寄りと遊べたり教わったり出来るとありがたいし、お年寄りにとっても子どもとの交流はよい気分転換になる。デイケアコーナーを設けたり、時々イベント的にお年寄りに来ていただいているかどうか。</p>	<p>高齢者と子どもの交流は、双方に良い効果をもたらすとの見地から、全国的にも事例が増えています。施設の運営方法については、ご提案いただいた案も含め、様々な事例も参考に、効果的な子育て支援のあり方について検討を行っていきたいと考えています。</p>
15	<p>「（仮称）子どもの城」の整備には賛成だ。おやこの森は十分に機能しているが、手狭で車でのアクセスも不便だ。これからは、この役割をさらに発揮できる施設が必要だ。計画を押し進めてほしい。費用については、かかるものはかかる。有効に使ってほしい。</p>	<p>現在「おやこの森」には、子育て支援の中心的な役割を担っていただいております。多くの方々が利用をされていますが、ご指摘のとおり、さらなる機能の強化や拡大が必要であると考えています。</p>

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

1、施設に対する期待の声など（スケジュールを含む）

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
16	子どもの城が中心となって、子育て支援センター、病後児保育、発達支援、一時預かり、相談等ができれば、他の支援センターや、おやこの森はどうなるのか、心配で不安だ。おやこの森に相談した時、すぐに温かく対応していただいた先生が忘れられない。今でもおやこの森に遊びに行くと、温かく迎えてくれ、ほっとして、何でも相談できる気持ちになる。	今回の施設整備は、市が、さらなる子育て支援の拡大を図るために実施するもので、既存の施設の機能を移転するためのものではありません。一方、「おやこの森」では、現在、市の子育て支援事業を多く委託し、実施していただいています。これらの委託事業の実施箇所等については、今後様々な検討が必要ですが、市民の皆様のニーズや利便性等を踏まえて、検討していきたいと考えています。
17	子どもを自然の中で安心してのびのびと遊ばせたい。自然から学ぶきっかけのある施設が良い。また、雨の日でも、思い切り走りまわって友だちと遊べると良い。	施設には、屋外に自然の中で安心して遊ぶことのできるスペースを整備いたします。また、屋内にも遊び場を配置する予定です。
18	庭に遊具はいらない。季節を感じられるような自然と樹木と築山と砂場があれば十分だ。感覚を大事に育てたい。水、泥、砂で遊ばせてあげたい。	
19	おやこの森では、子どもたちを自然の中でたくさん遊ばせていただいた。私自身もいろんな方々と出逢い、楽しく子育てでき、困った事や心配な事があると、先生から元気づけられた。おやこの森には、子ども達の成長、お母さん方の成長に大切な事がたくさん詰まっている。子どもの城でも、ひとりひとりを大事にして、それぞれの方々が楽しく幸せに過ごせる場所になるよう願っている。	「おやこの森」は、多くの市民の皆様が利用をされています。新しい施設の整備、運営にあたっては、ご指摘のような、「おやこの森」の優れている点や、利用されている方々のご意見を参考にしながら、より多くの皆様に喜んでいただけるような施設を目指してまいります。
20	子どもの城を市民の皆様知ってほしい。みんなが利用できて、平等に支援が受けられ、誰もが笑顔になれて、笑顔で生活することをサポートできる場所であってほしい。	市民の皆様喜んでいただけるような施設を目指すとともに、その支援内容やイベント等の情報についても、積極的に発信していきたいと考えています。

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

2、土地の選定理由・周辺道路について

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
21	建設地周辺の道路が狭いので、安全面を十分に考え、通いやすいようにしてほしい。	周辺道路の整備による交通アクセスの改善等については、整備予定地の北側の道路について既に拡幅工事を行ったところではありますが、今後も施設の利用状況等を注視しながら、また地域の方々のお声もお聴きしながら、必要に応じて判断してまいりたいと考えます。
22	周辺道路を整備し、国道218号からのアクセス等を良くしてほしい。	
23	計画には「車での移動等、利便性が高い」とあるが、それなら松山町などわざわざ出かけていく場所ではなく、延岡駅西口に予定されているビルに入れてはどうか。	これまで行ったニーズ調査等から、多くの皆様が、屋外で遊ぶことのできるスペースを希望していることが明らかになったところであり、このようなことも踏まえて整備予定地を選定したところです。
24	土地も設計も既に決まっているようだ。どのような経緯で今に至るのかわからない。民間の幼稚園がやってきた事業を、延岡市が運営することになったのか。なぜ松山のわかあゆ支援学校跡地なのか。浸水被害もあり、土地のかさ上げをしなければならない。余計な支出をする必要があるのか。別の土地はないのか。インターチェンジから近いとあるが、他県から利用する方は少ない。北方町、北浦町、北川町の人には使いやすいのか。	この事業は、民間の事業を引き継ぐのではなく、市が新たな施設を整備するものですが、土地の選定については、面積や位置など、様々なことを考慮したうえで、宮崎県から旧わかあゆ支援学校跡地のグラウンド部分を取得することとなりました。土地の選定を含めた施設整備の再検討については、完成を遅らせるべきではない等の理由によりできませんでしたが、ご指摘のような浸水や土砂災害についての対策が必要な土地ですので、そのような対策を十分に行ってまいりたいと考えています。また、延岡ICに近いことから、市外の方や、北方町、北浦町、北川町の方などにもご利用しやすくなるものと考えます。

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

2、土地の選定理由・周辺道路について

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
25	整備予定地として「しろやま支援学校」のグラウンドは使用できないのか。1mのかさ上げの必要はないし、土砂災害の心配もない。バス停もありアクセスも良い。現在の計画地はバス停から800m離れている。隣に支援学校があれば、いつでも気楽に支援が受けられる。障がい者との交流も生まれ、まさに総合的な拠点になる。	ご指摘のグラウンドは「宮崎県立延岡しろやま支援学校」の校内にあり、現在、多くの生徒が日々利用していますので、今回は土地の選定における対象としませんでした。
26	自家用車でのお来館しか想定されていない。バス停の設置か、まちなか循環バスのルート変更を強く要望する。旭化成もあり、都会からの通勤者も多いはずだ。都会から来た主婦は、ペーパードライバーが多い。このまちに生まれ育ち、当たり前のように運転する人たちだけをターゲットにしているのは、移住者、都会からのUターン者は増えない。	交通アクセス等については課題がありますが、ご指摘のような視点も含めて、今後関係方面とも協議しながら検討してまいりたいと考えています。
27	基本構想概要にある外構計画から大幅に変更されている。変更項目とその理由の一覧表があるとよい。基本構想の中で譲ることのできないものを明確にしておくことも必要だ。土地の効率的利用の観点から、建物は東側三角エリアに建てるのが望ましい。それが難しければ、当初の基本構想のように公園にした方が、三角エリアを有効活用できる。別ケースも比較検討し、提示してほしい。	ご指摘の、基本構想・基本計画の概要に示された外構計画等につきましては、基本構想・基本計画の考え方に基づいた配置の一例を示したものです。実際の配置等につきましては、今回お示しした案を基に決めてまいりたいと考えています。
28	市は、隣接する学校跡地も取得して、一体的な施設として利用すべきだ。旧学校はバリアフリーとなっており、子どもの学び場、遊び場にリノベーションするのは容易だ。廃校利用の観点からも積極的に活用していくべきだ。このように敷地も広く、高速道路のインターからも近いという物件はなかなか出て来ない。小学生、中学生の好奇心を呼び起こす施設としてほしい。	土地の選定については、取得に要する費用や面積、位置など、様々なことを考慮したうえで、宮崎県から旧わかあゆ支援学校跡地のグラウンド部分を取得することとしました。ご指摘のとおり、この土地は延岡ICから近く、市外や北方町、北浦町、北川町などから来られる方にも利用しやすくなるものと考えています。今後、子どもや子ども連れだけでなく、老若男女幅広い世代が楽しむことのできる施設の整備について、別途検討してまいりたいと考えております。

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

3、防災・防犯対策について

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
29	地震等発災時の避難経路、誘導方法は重要だ。建設設計者、現場の実務担当者、防災計画担当の三者が、意見交換して設備に反映すべきだ。防災計画も策定してほしい。	災害発生時を想定し、避難経路や誘導について事前に検討を行うことは大変重要です。ご指摘のように、様々な視点から対策を講じ、防災計画の策定も含め、十分な安全対策を検討したいと考えています。
30	事務室が東端に位置しているが全体を統括できるのか。普段の活動でも事務室から建物を見渡せない。子ども用トイレが奥にあるが、非常時にどうフォローするのか。2階に職員は何人常駐するのか。避難誘導ができるのか。病後児室や一時預かり室も奥にあるがよいのか。	事務室で事務を行うスタッフと、館内の子ども達を担当するスタッフとを分け、目が行き届かないことなどがないよう、十分な体制で運営します。また、2階についても、避難誘導等の対応も含め、利用状況に合わせて、十分な体制で運営するようにします。
31	防犯対策を万全にする為、不審者対策に重点を置く必要がある。受付スペースから入り口を見渡せる構造、防犯カメラ、防犯アラームなどの設備面での対応が必要だ。また、不審者が侵入した時の避難用の部屋が必要だ。施設スタッフに防犯対策専用員（警察OB）を配置し、そのことをアピールして、不審者が容易に近寄れない施設とする必要がある。	不審者対策等を含む防犯対策については、大変重要であると考えます。構造上の工夫や防犯設備の設置等により対応するとともに、不審者の侵入等、緊急時への対応に関するスタッフの研修等についても検討してまいります。
32	配置計画に、敷地は県の指定する土砂災害警戒区域に入っており、土砂災害の想定が60cmとある。本当に危険ではないのか。また、水深3～5mの浸水被害が想定されている。なぜそのような危険な地域に整備するのか。	整備予定地には、災害に関する一定の課題がありますが、土砂災害については、建築物の損壊が想定されるような特別警戒区域ではなく、建築規制がかかっていないこと、浸水被害については、建物を2階建てとし、1階床の高さを1m高くすることによって、最大の浸水想定にも備えることができることなどから、整備が可能であるものと判断しました。

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

4、施設の機能面について

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
33	0歳からお年寄りや障がい者まで、安心して無料で利用できる公園を希望する。例えば、ジョギング、散歩道、ストレッチコーナー、子どもの自転車道、ボール遊びの広場、自然体験できる広場、を増やしてほしい。良い施設として運用されることを期待している。	施設の利用対象者については、主に子育てをしている方が、親子で利用することを想定していますが、様々な遊びができるよう広場を配置する予定です。また、できるだけ多くの機能を無料でご利用いただけるようにしたいと考えています。
34	児童クラブを利用する小学生には、学校から施設までの専門バスがあると助かる。一時預かりでは、先生方が自分の子どもを遅くまで預けられる施設がある事が大切だ。病児施設は、病院のそばだと安心だ。働き易さや仕事を優先するか、病気の子どもを優先するか、親としては判断が難しいが、生活向上のため仕事優先が現実だ。	児童クラブや一時預かり、病児・病後児保育等の各事業につきましては、ご指摘のような課題がありますが、それぞれ重要な事業ですので、事業実施の環境づくりに努めてまいります。
35	新しい施設での子育て支援を楽しみにしている。おやこの森では、遊具で遊ぶことなく全身で自然を体験できる。広すぎず、園庭に死角がなく、外で遊ぶ子どもたちを見渡せる。子どもの城にも砂場や池があるのはよいが、園庭が広く死角もあり、階段や滑り台などは危険を伴う。山と砂場、水だけの広場にして、創造的な遊び方を期待したい。園庭にはシェードのような日陰を考えてほしい。館内も、遊具ばかりではなく、創造性を引き立てるような配置を希望する。	「おやこの森」は、多くの市民の皆様にご利用されており、本市も多くの子育て支援事業を委託しています。新しい施設の整備、運営にあたっては、ご指摘のような「おやこの森」の優れている点や、利用されている方々のご意見を参考にしながら、より多くの皆様に喜んでいただけるような施設を目指してまいります。
36	施設で小動物を飼って、子どもも大人も触れ合えるようにしてはどうか。	小動物の飼育等も含め、施設の運営に関することについては、今後さらに検討を進めてまいります。



「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

4、施設の機能面について

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
37	<p>運動場部分の三角地に建てる計画のようだが、半端な感じは否めない。体験教育機能も持たせるのなら、跡地全部を利用し、宮崎市の科学技術博物館のような施設を目指すべきだ。ヘルストピアのプラネタリウムを統合すれば、はるかに学習効果の上がる運用が可能だ。県には、体育施設だけでなく文化施設についても積極的に働きかけていくべきだ。</p>	<p>旧わかあゆ支援学校跡地のうち、運動場部分のみを取得した件については、土地の取得に係る費用や校舎の改修費用、新たな施設に必要な面積等を考慮したうえで、判断をいたしました。今回の施設整備は、子育て支援の機能充実に重点を置いたものとしております。施設では、発達の段階に応じた遊びや学びの提供も行う予定ですが、今後、子どもや子ども連れだけでなく、老若男女幅広い世代が楽しむことのできる施設の整備について、別途検討してまいりたいと考えております。</p>
38	<p>施設の広さに対し、職員数5人は少ない。保育士の仕事の内容と報酬の低さに驚いた。職員をもう少し増やし、人件費ももう少し保障があってもよい。7つの事業を委託するというのは大きな役割だ。どのように運営していくのか、マネジメントする専門職員も必要だ。機能的にいろんな部屋があるのは良いが、職員5人で目が行き届くのか。駐車場も含め、もう少し狭くてもよい。</p>	<p>職員数5人というのは、施設の管理運営に携わる者の数で、各種子育て支援に関する委託事業を担当する者は含まれておりません。資料が十分にはわかりやすいものではなく、申し訳ありませんでした。病後児保育や一時預かり等の各支援事業には、別途担当職員が配置されることとなります。また、報酬につきましては、国の定める基準額を踏まえ、様々な状況と併せて検討したいと考えています。</p>
39	<p>病後児保育は子どもの城では365日対応としてほしい。</p>	<p>病後児保育の実施曜日等、詳細については、現在検討中です。</p>
40	<p>建設費、施設運営費とも妥当な金額だと思うが、「防犯防災対策専用品」の配置費用、「病児保育」の対策費用を追加すべきだ。病児保育は、「子育て環境日本一」を目指すならば当然取り組むべき課題だ。医師会との連携、子どもの城での対応、病院、保育施設での対応、または、隣接する学校施設の活用などをしっかり検討すべきだ。</p>	<p>病児保育については現在実施をしておりませんが、医療体制の状況等を踏まえながら、判断していきたいと考えています。</p>

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

4、施設の機能面について

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
41	離乳食や幼児食の相談をしたり、実際に作ってみたりできるように、またパン教室ができるように、調理室がほしい。	館内には調理室も配置する予定になっていますので、ご希望のような利用も可能になるものと考えています。
42	駐車場をたくさん用意してほしい。駐車場と建物が離れているときは、屋根をつけて、できるだけ傘をささずに移動できるようにしてほしい。	多くの皆様が、お子様連れで来館されることを踏まえ、可能な限りの駐車スペースを確保し、使いやすい形で整備したいと考えています。

「（仮称）子どもの城の整備に係る建設費及び施設運営費等に関する意見と回答（意見提出数：23名、44件）」

5、その他

	市民の意見(概要)	延岡市の考え
43	各地に「子どもの城」と名付けられている施設がある。基本理念に「誰でも・いつでも・気軽に利用できる子育て総合拠点」とあるので、名称は、「延岡おやこの森」あるいは「延岡子育て支援センター」の方がよく、市民にもわかりやすい。	施設の名称や愛称につきましては未定ですが、市民の皆様のご意見を伺う機会を設け、様々なご意見を踏まえながら検討してまいりたいと考えています。
44	市民の声を聞いてくれてありがたい。このような情報公開とともに、早急に条例を作してほしい。	市民の皆様にさらなる情報公開を行うとともに、ご意見をお聴きすることを制度として確立させるために、条例制定に向けた検討を現在行っております。